

## 北区自治協議会 部会会議概要

地域づくり部会	p. 1-3
福祉教育部会	p. 4-5
自然文化部会	p. 6

## 第 2 回 地域づくり部会 会議概要

日 時	平成 29 年 8 月 17 日（木曜） 午後 2 時 40 分から午後 4 時
会 場	北地区コミュニティセンター2階 大ホール
出席委員	本間（久）部会長、阿部（恵）副部会長、阿部（康）委員、五十嵐（隆）委員、本間（藤）委員、山賀委員、阿部（淳）委員、上松委員、川島委員、小林委員、倉島会長
欠席委員	なし
事務局 関係課	区長、地域課長（兼副区長）、建設課長、産業振興課長、総務課長、地域課（尾崎）
会 議 要 旨	<p><b>1 部会で協議するテーマ、課題について</b></p> <p>先回に引き続き、部会テーマアンケートに基づき、担当課から現状や課題、既に取り組まれているものや、今後の方向について説明を行った。</p> <p><b>【テーマの現状や方向性など】</b></p> <p><b>○農業の振興等について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新潟市特区民泊制度（外国人および日本人の宿泊）が設けられグリーン（農業）やブルー（漁業）体験と2泊3日以上宿泊が必要となっている。市街化調整区域において個人の家屋や空き家を活用することもできる。</li> <li>・7月27日に事業者向け説明会が開催された。</li> </ul> <p><b>○若者が住みたくなるまちづくりについて</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・JR 豊栄駅北地区の開発について、平成 25 年に地元関係者等により提言書がとりまとめられたが、市街化区域の編入は見送られた。特色ある開発計画でなければ、市街化区域への編入は難しいことから、平成 34 年度に予定されている見直しを見据えて関係者と市で区画整理の勉強会を行う予定である。</li> <li>・新潟東港への工業誘致について、市全体を考えた工業団地の造成については、平成 30 年 3 月末までに候補地の絞り込みを行う予定であり、既に事業者向けに計画の募集を発表した。また、工業立地法の緑地率緩和について、市条例とする予定である。</li> </ul> <p><b>○学生や各世代間の交流について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療大生による地域での農業体験は、市民の間で秋頃やってみようというケースあり（本間部会長、阿部副部会長より）。</li> <li>・新潟食糧農業大学では地域と連携していきたいという意向あり。</li> </ul>

**○公共交通について**

- ・新潟医療福祉大学バス等の目的バスの一般市民による利用について、新潟運輸支局の見解では、輸送において有償性があれば適正利用の観点から難しく、地域公共交通会議等での議論が必要とのこと。また、地域団体による目的バスの借り上げなどは、事故等が発生した場合の責任の所在などクリアすべき点があるとのこと。
- ・区バス等の夜・土日祝日の運行について、区バスにおいては社会実験から本格運行移行による収支率の推移等を留意しつつ、今年度利用者アンケート実施する予定である。おらってのバスについては今年度からの社会実験の利用状況を分析しながら、運行内容について住民バス団体と意見交換を行っていく予定である。

[主な意見]

- ・空き家の活用は、そこに長く住んでもらうというのが目的である。
- ・学生に空き家に住んでもらい、さらに永住してもらおうとよい。
- ・民泊で、地域で空き家を借り上げるなどの方法はできないか。
- ・空き家活用は検討課題があるが、農業体験や農業交流はできそうである。
- ・学生が、自分が居住する地域と交流できるようにならないか。
- ・医療福祉大学生との交流については、健康医療の面と農業の生産者との面で交流できるとよいのでは。
- ・豊栄駅北側は、公共施設がない。避難所が離れている場所に指定されている状況である。
- ・大学バスなど目的バスの活用については、まず地域で組織を作って取り組む必要がある。
- ・各テーマにおいては法律の壁があることや、利用のしやすさの面などいろいろな面から検討する必要がある。専門家の意見を聞き、研究機関を作るなど話を進める必要がある。

<次回について>

課題や今後の方向性を踏まえ、テーマの絞り込みおよび取り組みについてさらに検討する。

**2 平成 29 年度自治協議会提案事業今後の予定について（部会関係）**

**(1)「羽越水害復興 50 年記念事業」について**

総務課長から、6 月 18 日に北区文化会館で開催された「治水シンポジウム」に約 350 人の参加があった報告と、今後、羽越水害復興 50 年記念事業シンポジウム記録集を作成し、地域での防災訓練や子どもた

ちへの防災教育で活用していただくとの報告が行われた。

**(2)「松浜海岸の環境整備と地域活性化」について**

倉島会長と建設課長から、住宅地の飛砂防止とひょうたん池の保護を目的とした植栽と、飛砂防止ネットの設置計画について地元と話し合いを行っている旨の報告が行われた。

**3 平成 30 年度特色ある区づくり事業について（委員提案分）**

**(1)「Northern Rock Circuit2018 の開催について」**

阿部（淳）委員から、豊栄駅前エリアを活用した音楽イベント開催の提案内容について説明が行われた。

**(2) 北区役所新庁舎の賑わいをデザインする事業**

総務課長より、今後の新庁舎建設との関連の可能性について説明が行われた。

**(3)「松浜海岸の環境整備と地域活性化」について**

前述 2 の 平成 29 年度自治協議会提案事業に関連し、継続的な取り組みの必要性について倉島会長より指摘された。

**(4) 北区賑わい創出事業**

地域課長が平成 28、29 年度の事業経緯について補足説明を行った。

[主な意見]

- ・植樹を続けるなど地域でよくしていこうという姿勢が大事なのではないか。
- ・松浜海岸に関連して、行政は縦割りである中で治水が最優先と見られるが、それを横断的に組み合わせると何かいい知恵がないか、それを検討するのが我々の役目であり、そこで地元が協力できる点があれば協力していくということではないか。
- ・北区賑わい創出事業については、現在地域住民で構成される委員会に所属しているが、これまでの実施内容について確認評価し、次年度何をしたい方がいいかについて意見を伝えていく役割があると思っている。
- ・Northern Rock Circuit2018 の開催について、ほかの施設や福島潟などとの連携を考えてはどうか。

<次回について>

関係課から、さらに提案者に提案内容の確認を行い、行政からも関連情報を提供し、引き続き意見交換を行う。

## 第 2 回 福祉教育部会 会議概要

日 時	平成 29 年 8 月 17 日 (木) 午後 2 時 35 分～午後 4 時 30 分
会 場	北地区コミュニティセンター1階 講座室 1
出 席 委 員	渡邊(正之)部会長、梅津副部会長、若月委員、工藤委員、曾我委員、高橋委員、真壁委員、村中委員
欠 席 委 員	五十嵐(紀)委員、岡委員
事 務 局 関 係 課	健康福祉課長、豊栄地区公民館長、北区教育支援センター所長、地域課 (小林補佐・高野・佐藤)
会 議 要 旨	<p><b>○平成 30 年度 特色ある区づくり事業「大学生と商店街活性化事業について」(委員提案分)</b></p> <p>真壁委員より提案内容について、説明が行われた。</p> <p>&lt;提案内容&gt;</p> <p>医療福祉大の学生は豊栄駅南口へと足を運ぶことが少ない。 葛塚市やアーケードで行われるイベントなどを利用し、大学生が地域に溶け込んでいくことができないだろうか。</p> <p>[主な意見]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大学生が消費者としてより、後継者不足が懸念される運営者側に回って関わるというやり方ができないか。</li> <li>・松浜市もある。北区の一体化を図るため、同時に北地区でも行えないか。</li> <li>・市場を利用できない交通弱者と大学生を結び付けられないか。</li> <li>・市場で大学生が出店できないか。学生が出店に関わる時間があるか。</li> <li>・大学生が医療、福祉など学んでいる技能を活かし、マッサージや体操、骨密度測定など介護予防に役立つ出店をし、市場やイベントを賑わせるという相乗効果が狙えないか。</li> <li>・学生の集えるまちなかステーションを設置したらどうか。</li> <li>・どういうことに予算が必要か、市場なのか、イベントなのか、整理が必要である。</li> </ul> <p><b>○平成 29 年度自治協提案事業「命」の教育について (部会関係)</b></p> <p>&lt;梅津委員より&gt;</p> <p>家庭教育はとても大切。より多くの子育て家庭に伝えたい。 家庭教育支援ガイドブック (県教育委員会・県地域家庭教育推進協議会発行) を基にし、福祉教育部会だよりを発行できないか。</p>

〔主な意見〕

- ・講演会に出席いただくと、忙しい保護者と子どもを離すことになってしまう。
- ・配布するだけでなく講演会で教えてもらうことは大切なこと。
- ・小さな子どもが集まる場所や子ども食堂などで小さな会場でもいいのでは。
- ・家庭教育の時間がなく、教えてもらっていない大人が親になっている。分かりやすい漫画にできないか。
- ・当該ガイドブックは非常に分かりやすい。委員のコメントなども入れて、手に取りやすい工夫をし、小学生の保護者向け発送したい。  
→次回までに、A4両面カラーで原稿（イメージ）を作成する。  
校長会で教育支援センターから福祉教育部会だよりについて伝える。

○部会のテーマについて

- 「北区の生きる力・支え合う力を～子どもから高齢者まで～」に決定。
- ・早通健康福祉会館の視察についても次回以降計画する。

## 第 2 回 自然文化部会 会議概要

日 時	平成 29 年 8 月 17 日 (木) 午後 2 時 30 分～午後 3 時 30 分
会 場	北地区コミュニティセンター 1 階 第 2 講座室
出 席 委 員	若尾部会長、赤間委員、松田委員、渡邊委員、内川委員、高口委員
欠 席 委 員	阿部 (美) 副部会長、川居委員、後藤委員
事 務 局 関 係 課	区民生活課長、地域課 (柏木、西脇、貝瀬)
会 議 要 旨	<p><b>○部会検討テーマにかかる取り組みについて</b></p> <p>部会テーマとして検討中の福島潟のラムサール条約登録に向けた取り組みの推進に関し、前回意見があった現地視察の実施について、北区内の潟 (湿地等) の視察内容 (事務局案) をもとに意見交換を行い、引き続き、次回に具体的な検討を行うこととした。</p> <p>[主な意見等]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各視察先では、地元や専門家から解説してもらった方がよい。</li> </ul> <p><b>○平成 29 年度自治協提案事業「北区の潟の魅力発信事業」について (部会関係)</b></p> <p>今年度に部会で担当する自治協提案事業「北区の潟の魅力発信事業」について、事務局から市の関連シンポジウムの開催予定を紹介したうえで意見交換を行い、次回以降、具体的な実施内容を検討していくことになった。</p> <p>なお、30 年度の特色ある区づくり予算 (委員提案分) については、次回以降に意見交換することとした。</p> <p>[主な意見等]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・潟研究所の大熊先生に講師をお願いできないか。</li> <li>・福島潟のラムサール条約登録への取り組みについて、自治会長やコミ協関係者でも知らない人が多い。自治会長やコミ協関係者対象の勉強会などはどうか。</li> <li>・福島潟に特化せず、北区全体の潟の魅力を発信したほうがよい。</li> </ul> <p>&lt;その他&gt;</p> <p>昨年 10 月に自治協から市長へ要請書を提出したが、ラムサール条約登録に向けた市の今後の動き、スケジュールについて部会の中で情報共有してはどうか。</p>